

中華の隆盛と終焉

黒田インターナショナル

黒田 毅

歴史はその永遠を失うのである。この悲劇は、永遠に優れるのである。なぜなら、歴史はその心において、永遠に優れるからである。

拝金主義と権威主義は、その誤りを天に優れる。これらは酒池肉林の欲望を国家とするのである。

これらは偽善の否定と欲望の解放を現実の有する。これらは歴史への人々の裁きなのである。

しかし現実は全てを奪うのである。これが歴史の終焉である。しかし知者はこれに学びを求め。

世界における西洋の隆盛は、その永遠を有する。それはそれら為政者の存在がこれを与えたのである。

中華が国家主義を失い、人民がこれを有する時、真実を知るのである。歴史における悲劇は、今日初めてその言葉を与えたからである。

これは、国家は、人であるということは正しかったのである。偽りない自己は、全ての人民が、その言葉において国家を与える。

王は、これを有し、皇帝足るのである。これは堯伝に記す論語の記載は正しいことの証明であり、これを有するものは、国家を得るのである。

この最後の答えは、真実は永遠するということである。